

2010年2月19日  
東日本旅客鉄道株式会社  
株式会社JR東日本ステーションリテイリング

## 「TOKYO STATION CITY」 2010年3月28日、東京駅改札内1階に、 「SouthCourt(サウスコート)」誕生！

東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長 清野智)は、東京駅において「駅が都市を変える・都市が駅になる」というコンセプトのもと、「TOKYO STATION CITY」と命名して開発を進めています。そして、このたび、2010年3月28日(日)、東京駅改札内1階「Dila 東京メディアコート」跡に、新たな商業ゾーン「SouthCourt(サウスコート)」が誕生いたします。運営は首都圏で ecute などを運営する(株)JR東日本ステーションリテイリング(代表取締役社長 江越弘一)です。

### 1. 開発主旨

JR 東日本グループは、「TOKYO STATION CITY」プロジェクトを推進しており、東京駅全体の価値向上を図っています。また、東京駅丸の内駅舎復原や東北縦貫線の整備といったハード面の変化、さらに消費の多様化といったソフト面の変化に対応するため、エキナカ商業施設のリニューアルを行なうこととしました。

今回、東京駅改札内1階「Dila 東京メディアコート」が、「TOKYO STATION CITY」のコンセプトの下、更なる発展を目指し、「SouthCourt」として生まれ変わります。

### 「サウスコート」全体概要

- ・所在地:東京都千代田区丸の内 1-9-1 JR東京駅改札内一階
- ・開発面積:約 1,700 m<sup>2</sup>
- ・店舗面積:約 1,300 m<sup>2</sup>
- ・店舗数:31 店舗
- ・店舗業種:スイーツ、惣菜、ベーカリー、カフェ、イートイン など
- ・売上想定:年間約 40 億円
- ・開発運営:(株)JR東日本ステーションリテイリング

## 2. 店舗概要

「SouthCourt」内の店舗は、大宮駅、品川駅などにおいてエキナカ商業施設を手がける株式会社 JR 東日本ステーションリテイリングが運営します。

### (1) ストアコンセプト: 「ニッポン Re-STANDARD」

日本の各地で育まれてきた文化や技法、生産者や職人たちが生み出した素材や商品といった、世界に誇れる日本の良質な品を現代のライフスタイルにあった商品にアレンジし、新しい使い方、楽しみ方を提案します。

### (2) デザインコンセプト: 「ennichi(縁日)」

今回の開発エリアを日本各地と東京駅ユーザーとを繋ぐ縁結びの場 = 縁日と捉え、縁日の持つ「賑わい・出会い・驚き・誘い・変化」といった要素を織り混ぜたスタイルで、具体的には力強い直線の連なりやリズム感のある照明を用い、シンプルでありながら印象に残るデザインとします。

### (3) 展開業種

#### スイーツ

情報集積地である東京で、日本全国から選りすぐりの「おやつ」を提案します。国産素材にこだわった洋菓子から、手軽にご利用いただける形にアレンジした和菓子など、東京から日本各地へ、また世界へ発信できる自慢の逸品を取り揃えます。

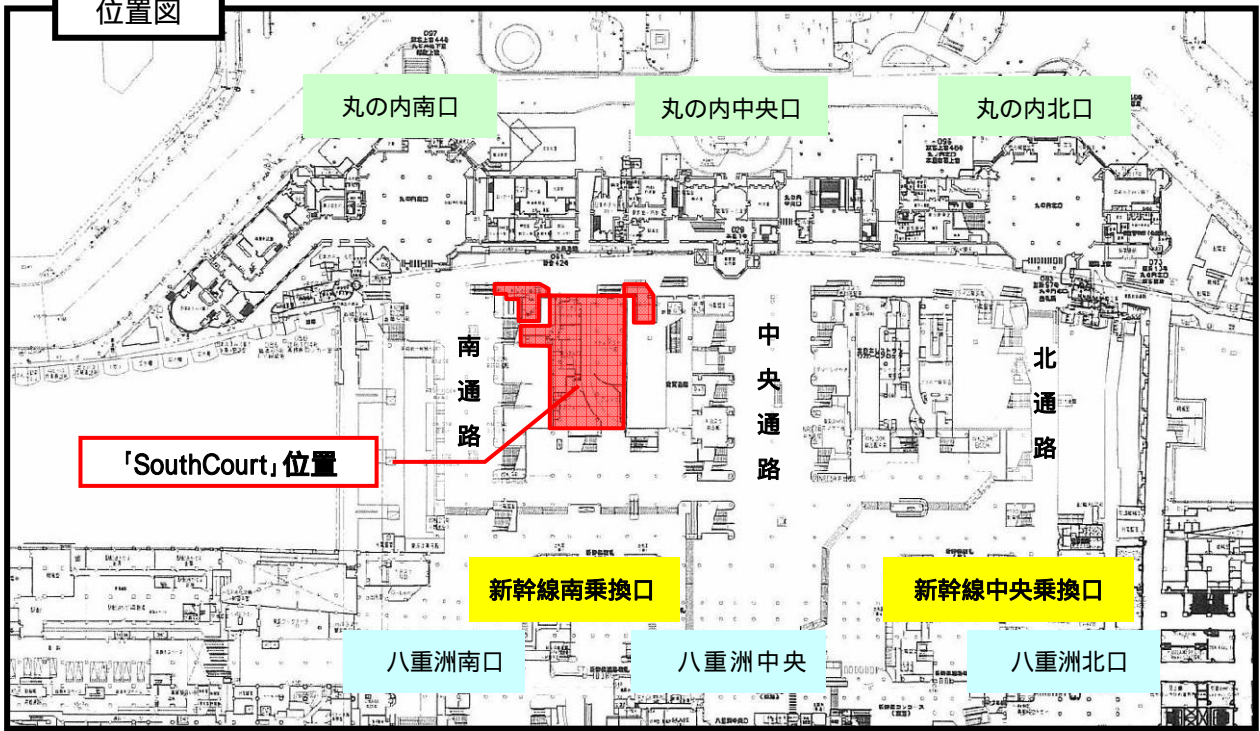
#### 惣菜

農薬を可能な限り控えた野菜から生まれた惣菜や、日本各地から取り寄せた素材で提供するメニューなど、日常のご利用から旅行など特別な日の車内需要まで、バリエーション豊かなラインナップを展開します。

#### 雑貨

地域文化から生まれた技法を取り入れた、日常的に使える生活雑貨や、数百年の歴史をもつ問屋が手がけるデザイン性の強い鞆など、日本生まれの優れた日用品を紹介することで、日本の技術やものづくりを元気にします。

位置図



八重洲側(イメージ)



丸の内側(イメージ)

